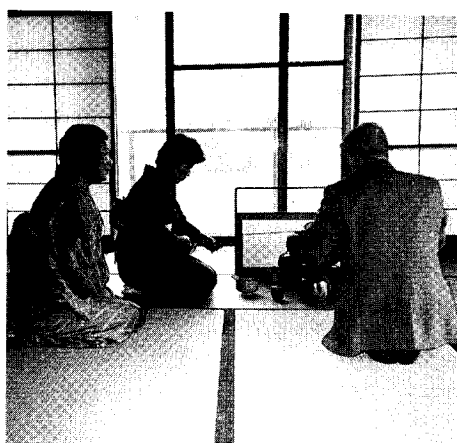


# せせらぎ

文化協会報

発行 平成元年12月10日  
東部町文化協会  
印刷 東鉄印刷

## —15周年特集号—



## 新たなスタート

# 新会長に丸山光夫さん（本海野）

## ご苦労様でした 小林進さん

平成元年度町文化協会の総会が4月22日開かれ、小林進さんの辞任に伴い新しい会長に丸山光夫さん、副会長に白鳥正志さん、小林清枝さんを選出しました。

平成元年度の総会において前小林会長の後任として会長に推薦されました。もとよりその器ではありませんが、東部町の文化活動に取り組み、育てて参りました先輩各位の尊い足跡をたどりながら、みんなで知恵を出し合って今よりも一歩でも前進できるよう、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。この重責をお引き受けすることにしました。

今日まで副会長として補佐して参りました経験を生かして、町民の皆様にご理解を深めていただき、会員相互の親睦を図るために、「文化協会報『せせらぎ』」の発行、文化講演会の共催（富永一朗先生、小林亜星先生）、公民館による教養講座への全面的な協力を推進して参りましたが、各部会の発表会、展示会、部会活動運営等については未だに不十分な面もあり、今後の課題として改善して参りたいと思います。会員も百四十グループ、千八百二十名の大世帯となり本年は会員名簿も作成します。



一人一学習で老後も楽しめる活動を

文化協会長 丸山光夫

高齢化社会を迎え、人生八十年時代に対応するために、一人一学習を身につけて町の福祉行政と共に、活力ある生甲斐を求めて長寿社会の老後を迎えたいと思います。私は文化協会と体育協会は車の両輪だと思います。若いうちは体力を鍛え、併せて文化協会でのふれあいを求めて会員相互の研修と、生涯学習の場として町民の皆様に親しまれる活動を文化協会の使命と考えております。

平成三年三月には町民長年の悲願であった文化会館が開館できる予定ですが、この完成を文化協会としては全町民に喜ばれ親しまれる芸術文化の殿堂として、広く地域社会の中核として貢献されることを心から期待しております。

町民の皆様の御健勝を祈念すると共に、一人一学習一趣味を身につけて、老後を楽しく学習できる文化協会へのご理解と御協力をお願い申し上げます。

東部町文化会館完成予想図



## 文化協会への期待

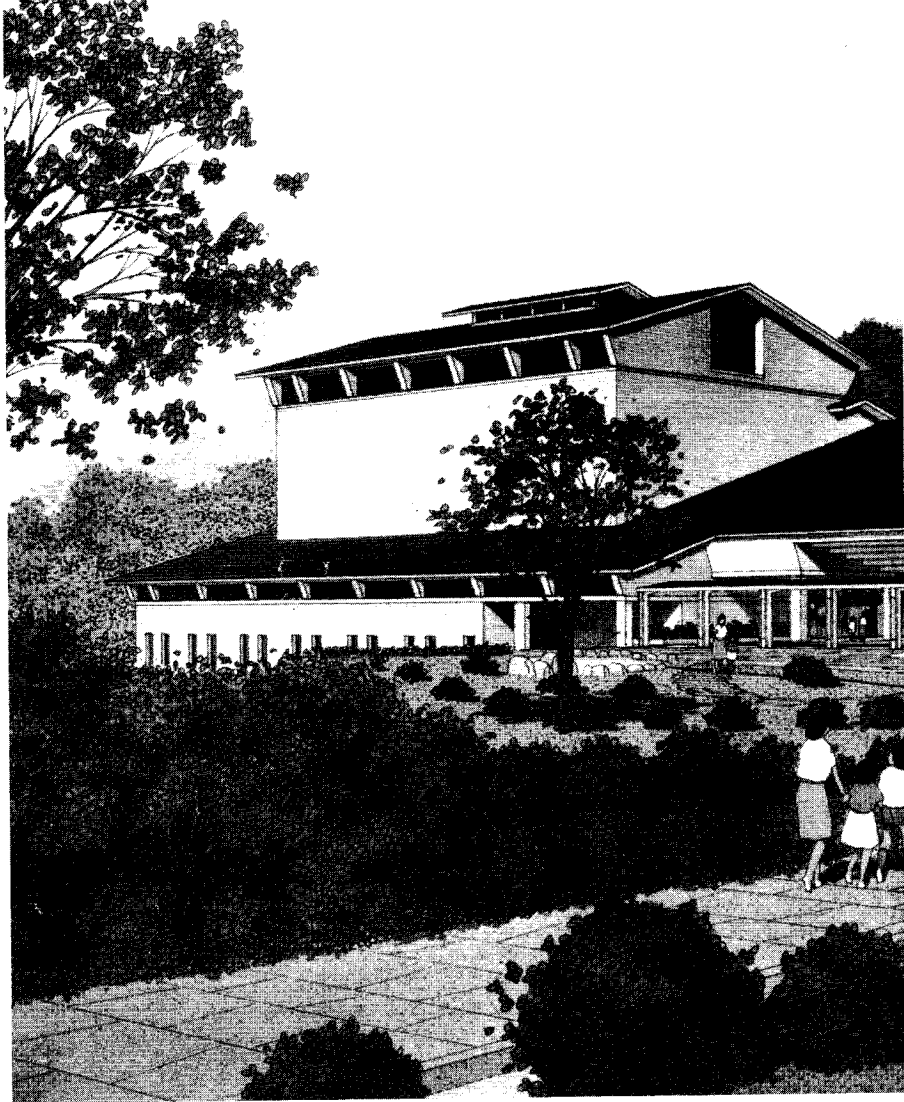
公民館長 関 亀 一

「文化協会報『せせらぎ』」の発刊をお喜び申し上げます。

私が文化協会の存在を知ったのは、うかつにも、昭和五十九年、初めて公民館の教養講座に参加してからであります。以来、年を加えるごとに、文化協会が、町民文化の向上に寄与してきた功績の大きさを実感して参りました。

現在、加入団体は二十二部門、百四十グループに近く、参加人員は二千名にほんんとしております。正に一大組織であり、百花撩乱の東部町の文化活動を支えているものといえましょう。

『東部町SUNテラス計画』と名づけた



## 思い出される町民センターの不寝番

前文化協会長 小林 進

初代寺島長虎先生を会長に発足した協会の活動の場は「町民センター」と呼んでいた旧庁舎あとでありました。部屋数もたくさんあり広いので、何か催物をしても非常に便利であると、町内外の皆さんから喜ばれたものでした。しかし、木造建築なので廊下等を歩けばギンギンと鳴ってにぎやかに感じたものでした。

当時、役場庁舎の講堂を利用して三日間の家玉展を催したところ、山浦兄弟、雷電の遺品、晩霞の作品等の秀作をはじめ、数多くのお宝をご出品願ひ、盛大な催しができましたことに深く感謝したいと思えます。期間中二晩は会場において四、五名で不寝番をして安全を期しました。また、この催しに対し長野放送局より一部の代表作

れた、町の第三次振興計画では、その「基本計画」の第一章に、「魅力ある生活文化を共に創る」を掲げ、その中で、芸術・文化の振興施策として、「香り高き芸術文化を生み出す力を培うため、芸術文化グループの育成を図り」、「広く住民の参加を促すとともに、地域に根ざした自主的活動の助長を図る」こと、そして、その拠点としての「文化会館」の建築・運営をうたっております。

これら施策推進の基盤的組織として、わが文化協会の占める位置は、いよいよ重くいよいよ大きいものがあります。

一方、公民館活動の核心は、町民の生涯

品の放映を依頼され、テレビ出演もいたしました。私たちの町は町中に美術品、宝物がある歴史の町でもありますので、永遠に守り続けたいものです。

寺島会長さんの後を継いで十五年、「一心と心のふれあい」をモットーに会員皆様の御支援と丸山さん、小林さんの両副会長さんをはじめ、多くの役職諸氏のご協力に支えられ、大過なく無事大任を果たすことができました。心から感謝申し上げますとともに、今は解放という屈託のない毎日でございます。本当にありがとうございます。終りになりましたが、文化協会の今後のますますのご発展をご祈念申し上げます、ごあいさついたします。

学習の態勢を確立することにあります。生涯にわたる学習の中で、町民の趣味教養を高め、生きがいを持つための芸術文化指向は、ますます増大してきております。

かかる住民ニーズにこたえるための事業展開に当たって、その実践主体である文化協会との連携協力は欠くことができません。

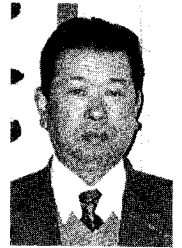
今まで同様、正に車の両輪として、「魅力ある生活文化を共に創る」ため、力を尽くしていきたいと存じます。

町の芸術・文化活動の拠点施設として「東部町文化会館」が今年の七月着工され、平成三年三月三日オープンの予定で進められていますが、この文化会館に期待する会員の声を聞いてみました。(敬称略)



橋原 聚

町では各種の文化活動が活発に行われ、地域文化は相当高度なものに育ってきていると思います。文化会館ができることにより、育んできた地域文化の芽が中央や世界の文化、芸術に接する機会を得て大きく花開くことを期待します。



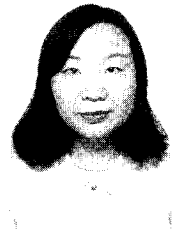
竹田 保彦

私たち「書」を勉強している者にとっては、数多くの有名作品に接し、身近で鑑賞する機会等があれば非常に勉強になり、心強い励みにもなるかと思えます。でき得れば中央との接触を図り東部町でも皆様と共に芸術鑑賞ができるよう期待します。



小河原ときほ

文化会館が着工され大ホールは音響効果が重視され、美術・博物館展示室・会議室・喫茶室を備え、まさに文化芸術活動の拠点となるだろう。中学校の西側の位置も教育的に重いものがある。伝統的切妻屋根を生かしたこと等心温もる思いで大いに期待したい。



岩下 幸枝

文化会館は芸術・文化の発信基地としての使命や文化的土壌の育成と同時に地域の文化活動の良き理解者、支援者となってほしい。また利用する側(町民)の意見と要望が充分反映されるシステムを考えて頂き、いつも身近な場として実感できるものであってほしい。



真岸 袈裟松

大きな期待をもって見守っていた文化会館が来年度には完成と聞き大変嬉しく思っております。これが完成の暁には町の文化芸術活動の拠点として高齢化社会に対応した配慮とも併せ、町民が楽しく利用できるよう期待します。



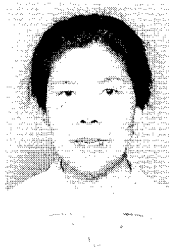
貢 甚一郎

町民待望の「文化会館」が着工となり、利用する立場から、この殿堂の完成に大きな期待を持ちつつ、オープニングの暁には、町民の皆様聞いていただくこうと練習を進めているところでございます。関係の皆様方に厚く御礼を申し上げます。



渡辺 せん

文化会館が設立されるにあたり、町の文化芸術活動も一層活発化されるものと予想されます。舞踊に関係する希望として、まず所作台、次に花道(仮花道)、そして金屏風の三点です。魅力ある芸で和やかな雰囲気舞台構造を期待します。



佐藤 充子

秋の日を浴びて、着々と進む建設現場を見ながら通勤している私の胸はトキメキを覚えます。『日本の中央の文化が、即、東部町に』そして文化会館が懸け橋になり、町民の芸術文化の拠点施設として大いに利用し、又吸収させていただくことを期待しております。

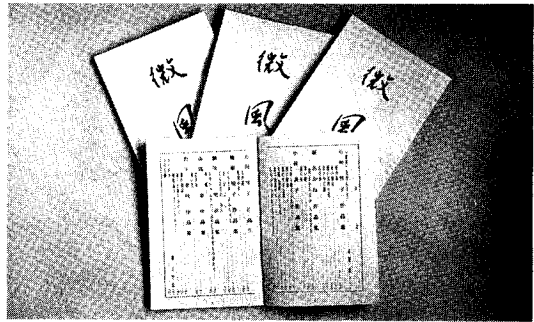


関 透

①老人、青年が気楽に参加できる文化活動。②同好の仲間は町内に限らず広く利用できる規約。③特に私の立場上、古典について下記をお願いする。古典に関する(和歌・文獻・芸術等) 大学講座の設置及び講演の実施。謡曲、観能の普及及び簡単な舞台設備。

●わたしたちは文化会館に期待します●

# グループ紹介



## 創作グループ「微風」

赤堀 規子

私たちの創作グループは、四年前、当時町の図書館長でいらした関尚文先生が、母親文庫の有志を募って発足させて頂いたグループです。上田では既に三十年になる「本と母の会創作グループ」があり、そちらへ参加していた私が、東部町でもそんな創作活動のできる場がないかと、問い合わせたことがきっかけでした。

メンバーは現在七名で、童話、小説、紀行文、エッセイなどで筆を進め、昨年、作品集を発行しました。全員が主婦の感覚を基盤に、仕事に、社会活動に、趣味にと、豊かな感性と行動力を備えて、書くことで色々なものを見つめている人々です。中央の文化研究所の添削指導を受ける人、岡谷の文学賞を受けた人、同人誌に参加する人、題材を温めて次の作品に備える人と、これからの楽しみです。

町内には、文化活動をしているグループは百四十グループあります。各グループそれぞれ積極的に活動しています。あなたも何か趣味を持ってエンジョイしてみませんか。グループについての問い合わせは、文化協会事務局へ(電話六二一一―内線五二五、有線二〇七―一三)



## 東部子ども劇場

荒木 恵子

新緑の季節と共にやってくる「地域公演」を、私たちは毎年、青葉を渡る風を待つようなさわやかな思いで迎えます。

今年は、むすび座の人形劇「トトラックとらす」がやってきて、私たちの胸に暖かな感動を残して行ってくれました。そして、その運営にかかわった劇場の子供たちの成長ぶりにも、目をみはる思いでした。劇場の親たちは、子供と一緒に劇や音楽を鑑賞したり、キャンプやおまつり、スキーやクリスマス会等の企画・実行にかかわるプロセスの中で、子供たちの自主性を育てたいと、長い目で見守っています。おぼせいの子供の中でこそ、子供たちはたくましさや優しさをふくらませていきます。劇場の子供たちを暖かく見つめながら、お金では買うことのできない「心」を、親子ともにはぐくんできてほしいと願っています。



## かぼちやの会

小田中 柚子

昨年、岡谷市のお母さんたちの手作り人形劇を見る機会を得ました。人形の出来、演出、音楽効果、セリフまわしなど心のこもった作品に接し、胸がキュンとなりました。「こんな心のこもった作品を子供たちに見せたいね」と同席した数人のお母さんたちの声が広がり、十名が集まって今年二月末、地域文化研究会「かぼちやの会」として活動を始めることができました。

私たちの住む東部町に生まれ、遠い昔から語り継がれてきた話を、より正確に楽しみながら子供たちに伝えてみたいというのが私たちの願いなのです。

幸いにも東部町農協編『ふるさとの民話』という本があります。これを手がかりに私たちなりにイメージを広げ、できるだけ詳しく事実を調べ、一つ一つの作品を大切に作り上げてゆきたいと思っています。今、「刀土雷電」の紙芝居を製作中です。



## マザーグース

丸山 和江

私たちのサークルは、これからの国際化社会に向かって日常会話に困らない程度の英会話を身につけようとスタートしました。スタートして一年半になります。ペラペラ話せる人、なかなか話せない人、又三十代の人、五十代の人、仕事を持っている人、持っていない人とバラエティーに富んでいます。でも皆、英語が大好きで、毎週楽しく学んでいます。

大変若く美しい熱心なオーストラリアの先生「サマンサ」のお陰で、最初何を言っているのか全くわからなかった人も、今では意志が通じるようになりました。

私たちは、英語を通じて世界中の人たちとお友達になりたいと思っています。「十年後の冬季オリンピックの時には、ボランティアで通訳をしようね」と夢をふくらませています。皆さんも一緒にいかがですか。



# 文化の里を考える



東部町の文化協会についての座談会を関係者九名  
にお願ひし、十月十二日の午後、中央公民館で行  
発足当時の思い出や文化協会のあり方について語り  
合っていました。

出席者／別府貞己 小山定雄 関亀一 小林進 石井補人 丸山光夫  
中村新吾 宇井充子 山丸洋子（敬称略）

## 文化協会発足

### 当時の思い出

- A 文化協会は発足して満十六年を経過し、中央公民館を本拠地として、広範囲にわたって文化活動にご精進頂いております。此の度「文化協会だより」を「せせらぎ」と名付けて新風を吹き込みたいと思いますので、文化協会に対するきたんのないご意見をお聞かせください。
- 司会 年長ということで司会役を仰せつかりましたが、先ずは、文化協会発足当時の思い出はどうだったでしょうか。
- B 文化協会が発足した昭和四十八年は、オイルショックで経済の混乱した時期でした。発会式は十一月十四日に町民センターで行われ、寺島長虎先生が初代会長になられました。会費は一人五十円。
- C 私が公民館長になった時は、Bさんが文化協会長で、相談したり助けて頂きました。あの頃、文化活動ってどういう事をやるのかと考えていましたが、田中小の体育館で舞踊の発表会があったりして、技芸部とか文芸部とかのいくつかの部に分れていました。グループが増えて文化活動が盛んになり、個々では消化しきれなくなって、文化協会の規約が改正されたように記憶しています。
- B 当時、町は「三割自治」と言われる財政困難で、補助金を増やして欲しいとお願いしたら、「自分たちで費用を出し合って活動している団体があるのだから、そんなには出せない」と言われました。
- 司会 文化協会をつくるようになった発端は？ 上からつくられたのですか。
- A 文化協会の名簿資料（昭58）によると、絵画がトップに出ていて、寺島先生の部会が発足以前から音楽会を重ねており、それもひとつのきっかけとなって協会ができたように思います。
- B 町からの補助金はあまり当てにできないので、文化協会が発足してもいささかずれがあったように思います。補助金は年に十万円頂いていました。
- C 社会教育主事さんがグループ育成に力を入れてくださり、助成金を配る時は文化協会と相談してそれぞれへあげたと記憶しています。助成金は均等割りと特色割り（人数とか）で、合計いくらとやりました。助成金をもらうひとつの手立てとして文化協会を組織する力となっていたように推測しています。
- E 昭和三十五年頃から長野県でもグループ育成を強力に押し進めてきたのです。県の
- B 役場庁舎が移って町民センターができ、社会教育の場にしようとか大改造してから利用が増えたことは確かです。当時の詳しい資料を保管してなくて残念です。
- D 合唱部会の者ですが、町の音楽祭を毎年やってきて十七回になるから、文化協会とほぼ同じだと思います。昭和五十年頃田中の分館長になった時、田中小の体育館で音楽会をやるからと、踊りの民謡、歌の民謡、ピアノやヴァイオリンを習っている子供、歌えそうな人に声をかけた覚えがあります。その当時は「やまびこ」と「水曜会」しか合唱団がなく、公民館の音頭取りで音楽会をやりました。

### グループ育成

社会教育の方で補助金を出して、指導者養成をしてグループの育成をはかりました。特に地域婦人団体(婦人会)の活動が盛んになり、それが芽ばえでいちだんと活動が進み、中でも東信地区上田地区の活動が盛んだったと公民館活動史で言っております。

## 文化協会は

### どうあるべきか

司会 現在の公民館と文化協会の活動の分野は、どうなっていますか。

A 先ほど出た音楽祭は、今は、主催公民館、後援文化協会というかたちで、各地区をまわって盛大に開催されています。これが、公民館が育ててくれた一番の原動力になっていると思います。

教養講座は、公民館が募集して、公民館の委託で文化協会がやっています。

教養講座の卒業生は、現在百四十グループ、千八百名ほどになっており、このまゝめは文化協会が当たっています。町からの補助金は十八万円で、会費は一人三百円です。各グループへの助成金は出していません。部会はいろいろあって、活発なところとか、もうちょっとの感じとか、内容を検討させてもらっています。

司会 文化協会はこういうことをやるべきでしょうか。

E 地域の文化活動の土壌と、同時に活動の芽の育成が一番大事です。今、「文化の時代」と言われるが、その裏はどうでしょう。素晴らしいグループが百いくつもあるというが、その一人一人がいかに自分のやった事を地域において還元(おこぼれ)しているか、という事が一番の問題になっ

その後価値観の多様化で、地域集団から抜け出して、消費者グループなどのような機能的なグループ活動として独立していったわけです。

司会 なるほど、そういう基礎があったのですね。

てきます。これは前会長、現会長さんも常におっしゃっています。

地域還元、つまり地域文化は大きく言えば東部町づくりにも関連してゆくのではないでしょうか。社会教育と連携して実践活動をする時、文化協会が主体的にどう援助するかを考えてゆきたいものです。

F Eさんのおっしゃられたこと、確かにと思います。今百四十ものグループがあるようですが、グループにはいろいろあって、個人の勉強では地域への還元の仕方が分からないものもあります。

それを前提において、地域に還元できるグループをもう少し作って欲しいと思います。例えば、町の歴史を学ぶとか行政とながりがあって、直接町づくりにかかわるようなグループで、しかも各地域で小さくても気軽にはいれるようなものを希望いたします。

G 文化協会の規約では、グループだけでなく個人でもはいれるようになってはいますが、個人加入はないですね。昨年、和地区で総合文化展を開いたら、文化協会に関係ない人も出品して良い事でした。その個人を町の広場へ引き上げて出て頂くことが大事だと思います。

Fさんの言われた事については、図書館に古典や古文書など四講座があり、文化協会の中にも古文書があつていい勉強を重ね

ているようですが、双方で拡充の方向がとれば良いと思います。

## 地域文化の土壌づくり

司会 グループ育成といっても趣味関係ばかりでないか、東部町の立派な歴史も学びたいとの声も出たが、グループ育成についての具体策はいかがでしょうか。

F 文化協会そのもののPRが必要だと思います。が、そこへはいりたくない人もいろいろで、品物を作るわけでもないのでもむずかしいと思います。ところで、今度の会報は立派になって全戸配布ですか。

A 全戸配布で、紙面も大きくなります。今までにも会報は必要ないという声も一



部にはありましたが、お互いに横の連絡を取りながら、文化協会のPRやお知らせを皆さんに見て頂ける内容に組み替えて、少しずつでも前進したいと考えております。

「文化」というのはあらゆるところに使われ範囲が広いのですが、私としては底辺が低いと言われるかもしれないが、町民一人一人がひとつの趣味を身につけて老後をその仲間の人たちと手を動かし口を動かし生きて暮らせるように、生涯学習の一端として文化協会を位置づけたいと考えております。

G 町には、東部町の「SUNテラス計画」と名づけられた第三次振興計画があります。その基本計画の第一に「魅力ある生活文化を共に創る」が掲げられ、「個性的な都市環境の演出——自然・歴史と共生する都市空間、個性的な文化の形成」をうたっています。この中で、文化協会の存在が大きく評価されていることは、注目すべきだと思います。

司会 グループ活動に参加している人は千八百人位とのことです。町の人口からみても少ないですか。

G 町の有権者が一万七千人と言いますから、その一割以上の数字は上等ですね。

B 病人がいたり孫の世話もあるのにグループ活動へ出かける人もいるとの声も聞いて、様々な人がいるようです。

司会 先ほどEさんが「地域の文化」と言う事を言われたのですが、分館長は文化協会と関係持っていますか。

一同 全く持っていないですね。

G 各分館では、本当に地域に密着した文化活動をしているところがたくさんあります。せめて分館長、会長さんにも文化協会の運

営に参加してもらえればありがたいですね。  
A 地域で芸術発表会や作品展に参加する人は文化協会にはいない人が多く、分館活動が盛んなところは、公民館活動に積極的に協力して頂いています。

司会 それはよくわかるが、分館長に第一線に立ってもらわなければならないかね。

A 一年間で交替する役職だから……  
D 公民館の仕事としては初歩的な底辺の掘りおこしが分館の活動の基本と思いますが、文化協会となれば、カルチャーセンターと言われるよりはいくらかでも水準の高いものを目指して欲しいと思います。町のサテラス計画にあるように、文化の水準が高いものを目指していく一翼を担っている文化協会なのだから、各グループもそういう意識を持って欲しい。趣味のグループにも高度なものがあり、今の文化協会のあり方に食いつけないものを感じている人もあるように思います。そういう人が分離していくのではないかと案じるのですか……

C 勉強すれば高度になるのは当たり前です  
司会 そういう発表の場としても文化会館が建築されていますが、何を望みますか。  
G 来年の十月二十日に竣工予定で、再来年の三月三日にオープン予定です。  
F 立派な建物ができて、使用は有料になると聞いたのですが……  
F 公民館が手狭になっていくわけですから、町民が使いやすいように配慮して欲しいと

# 文化会館に

## 何を望むか

が、高度になると排他的になって文化協会も煙たく思われますね。うまい料理を作るには、水と油としょう油と砂糖がそれぞれの特徴を生かしつつとけ合せてできると言われますが、まさにうまい料理が文化協会だと思えます。  
E その通りだと思います。一つのグループが上位集団と下位集団に分かれてしまったら、文化協会の願いは勿論、町づくりも困難になってゆくのではないのでしょうか。  
C 高いレベルの芸術協会ができてもいいけれど、今の文化協会の中に排他的なものがあると、本物の文化ではなくなるような気がします。

A 東部町では、Dさんたちのご尽力でコンサートは高レベルだと言われています。今やっていることは小さなグループの低いレベルの文化活動かもしれないが、そういうものと、できることなら、丸子町や真田町などのグループ交流をして、合同で発表会をとというような事を、これからの課題にしたいと思えます。

G 現在、管理運営について研究中です。  
B 中央公民館で間に合うものはここでいうことなのでしょう……  
H 大変素晴らしい会館ができるそうで期待していますが、そこへはいろいろな職員、人材、トップに立たれる人によって運営がだいぶ違ってくると思えますね。そういう方に町民が何を望んでいるか、受け入れてもらえるような人材を望みます。

E “文化会館は東部町の顔だ”とすればその根拠として文化空間が非常に大事になっ

てくるのではないのでしょうか。会館にはいったら思う存分文化の時間に触れており、そして外へ出れば生活空間、即ち生活活動に「うるおい」と「創造」に満ちた生活行動ができるよう、このため館内の資料、展示に充分意をはらってゆきたいものです。  
D むずかしい事ですがその通りですね。会館に常駐している方の感じと、ロビーへはいった時の感じが一番大事ですね。東部町の顔にふさわしい人を配して欲しいと思います。  
G 施設として、音楽、演劇、バレエなどについては高度の専門性を持っており、十分芸術的な空間を持っていると思います。  
B 大金をかけた文化会館だから、社会教育に生かせるよう、うまく運用して欲しいとしきりに願っています。  
G SUNテラス計画にも「住民が自ら参加し、文化、芸術を生み出す担い手となるような文化会館の運営を図ります」とうたっていますから、希望は大事に考えていかれると思えますが、文化協会のこれに対するアプローチも大事になってきます。  
E さらに、文化情報を協会としてできるだけたくさん持っていることが大事と思えます。催しと同時に情報を持つ事もこれから大いに考えてゆきたいものです。  
C あそこにはいつ出て来たら心ざわやかになれるような文化会館であって欲しいと思えます。

A いろいろなご意見をありがとうございます。より多く利用させて頂く文化協会としては、中身の充実ができるよう力を合わせてゆきたいと思えます。  
司会 貴重なご意見をありがとうございます。

文化協会加入の各団体がそれぞれに勉強してきた一年間の成果を、町中央公民館において次の予定で発表します。町民の多くの皆さんが、ご来場くださいますようお願いしております。  
◎教養講座発表会 二月三日(土) 〆四日(日)(AM9〆PM5)  
◎東部町美術会展覧会 二月二十一日(水) 〆二十四日(土)(AM9〆PM5)  
◎合唱祭 二月二十四日(土)  
◎民謡発表会 三月四日(日)(AM10〆PM4)  
◎人形発表会 三月三日(土) 〆四日(日)(AM9〆PM5)  
◎舞踊発表会 三月十一日(日)(AM10〆PM4)

# お知らせ

文化協会加入の各団体がそれぞれに勉強してきた一年間の成果を、町中央公民館において次の予定で発表します。町民の多くの皆さんが、ご来場くださいますようお願いしております。

- ◎教養講座発表会 二月三日(土) 〆四日(日)(AM9〆PM5)
- ◎東部町美術会展覧会 二月二十一日(水) 〆二十四日(土)(AM9〆PM5)
- ◎合唱祭 二月二十四日(土)
- ◎民謡発表会 三月四日(日)(AM10〆PM4)
- ◎人形発表会 三月三日(土) 〆四日(日)(AM9〆PM5)
- ◎舞踊発表会 三月十一日(日)(AM10〆PM4)

# 編集を終えて

激動と言われた平成元年もあとわずかととなり、さまざまな思いが残りますが、いままじの望みをつなぎたいと思っています。

ここに文化協会発足十五周年特集号をお届けすることができました。より充実した紙面にと、名称を「せせらぎ」として、ページ数、そして内容一新しての新装開店です。新参編集委員ばかりの絵に描いた餅、なかなかの難産でした。編集に当たりご協力をいただいた皆様方に、紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

私たちは来年度の東部町文化会館のできる日を期待し、また、「文化協会報「せせらぎ」」をこれからも町民のみならず愛され、親しまれるものにしてゆきたいと思えます。

編集委員一同